



木曽林務課だより

4月

海を渡ってきたツバメの子育て準備が、家の軒先で始まっています。そうした子育て期間の野鳥の親鳥からのお願いです。

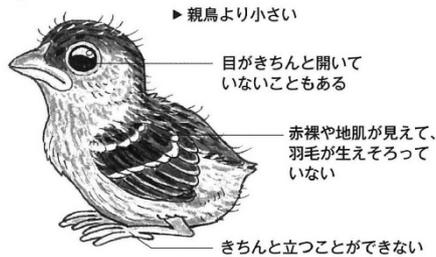
ヒナをひろわないで 野鳥の子育てを見守ってください!!

もし、道端や家の庭先で野鳥のヒナを見つけることがあります。ヒナを育てるのは、親鳥が一番です。その場合も野鳥は「野生の生き物」であることを忘れずに、彼らの生活を乱さないようにしてください。

ヒナのそばには、必ず親鳥が近くにいます。ヒナは拾わないで。

ヒナを拾うことは、親鳥から引き離してしまい、逆に子育ての邪魔をしてしまうことになります。

また、ヒナは、巣立ち後も親鳥から餌をもらったり、エサの取り方や天敵からの身の守り方等を学んで、一羽で生活できるようになっていきます。人がヒナを拾うとこうしたことを親鳥から学べなくなります。



巣立ち前のヒナの場合



巣立ち直後のヒナの場合

令和3年度「ヒナを拾わないで!!!」
キャンペーンポスターより引用

もし、危険な場所でみつけたら、近くの茂みなどの安全な場所においてあげましょう。

車の多く通る道や、猫に襲われそうなどの危険な時は、すこしだけ手を貸して避難させてください。

親鳥は、ヒナが巣から落ちてても、エサを運んだりして子育てを続けます。

野鳥を勝手に飼うことは法律で禁じられています。

国や県などの許可なく野鳥を飼育することは、たとえヒナを拾ってであっても禁じられています。



令和3年度「ヒナを拾わないで!!!」
キャンペーンポスターより引用